



資金調達を伴うビットコイン戦略に関する補足資料

Beat Holdings Limited

2025-2027

ビート・ホールディングス・リミテッド（東証スタンダード市場 コード番号：9399）



2025年12月10日

エグゼクティブサマリー

Executive Summary

📄 当社は2025年2月12日に暗号資産や関連するETF（以下「BTC」又は「ビットコイン」といいます。）を主要な財務準備資産として採用

📈 現在の保有状況：iShares Bitcoin Trust (IBIT) ETF 275,330ユニット

🔄 Multi-Series BTC Bond：BTC購入専用の回転型資金調達スキーム（発行上限100億円、残高上限50億円）






🛡️ BTC/ETF保有による長期的価値創出に焦点を当てた戦略

長期ビジョン

ビットコインを企業財務の中核に位置づけ、従来の通貨システムに依存しない、革新的かつ安定した企業価値の向上を目指します。





会社概要

Company Overview

-  ビート・ホールディングス・リミテッド (TSE:9399)
-  ケイマン諸島設立・登記、香港に事業本部を置くグローバル投資会社
-  CEO: Chin Siang Hui (チン・シャン・フイ)
-  日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、カナダに子会社を展開
-  ウェブサイト: <https://www.beatholdings.com/>







ビットコイン採用の背景

Background of Bitcoin Adoption

-  2025年2月、当社はビットコインを主要財務準備資産として正式に採用
-  経営陣のビジョン：伝統的金融システムに依存しない、長期的企業価値の創造
-  ビットコインは卓越した貨幣資産であり、インフレからの防衛策として最適
-  世界的に上場企業のビットコイン採用が進み、新たな企業財務の潮流に

ビットコイン採用の意義

通貨の価値低下が続くなか、ビットコインは固定供給量と非中央集権的特性により、企業財務の新たな選択肢として台頭しています。当社はこの世界的トレンドに早期参入することで、株主価値の最大化を目指します。

-  2024年12月
ビットコイン財務採用の可能性を内部調査開始
-  2025年1月15日
取締役会でビットコイン採用の議論と検討
-  2025年2月
正式にビットコインを主要財務準備資産として採用決定を発表
-  2025年2月
初回IBIT ETF購入：51,730ユニット（約280万ドル相当）
-  2025年6月
企業財務におけるビットコイン戦略の強化を検討
-  2025年7月
Multi-Series BTC Bondスキームの設計と準備

現在のBTC保有状況

Current BTC Holdings

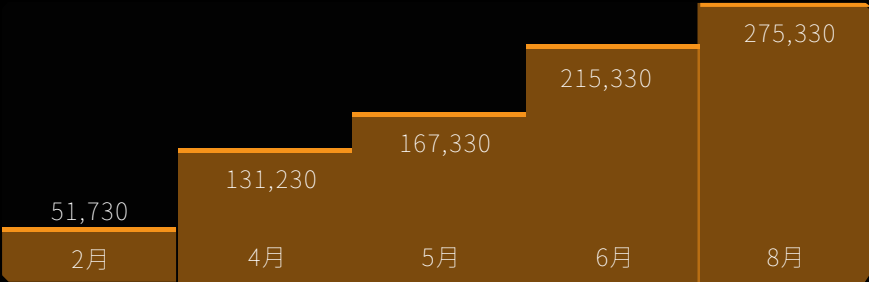
-  IBIT ETF保有数量: 275,330
-  ユニットビットコイン換算: 約 156 BTC
(1 IBIT ≈ 0.000565 BTC)
-  時価評価額: 約 17.15 百万USD
(評価益: 約1.73百万USD、2025年10月31日時点)
-  株価: 124 円 (10/28 株式分割後)
(2025年10月31日時点)

IBIT購入履歴サマリー

平均購入価格: 56.011 USD/ユニット

最新購入: 2025年8月1-2日 (60,000ユニット)

IBIT保有量推移 (ユニット)



購入期間	ユニット数	価格(USD)	金額(百万USD)
2025/2/12-14	51,730	54.21-55.40	~2.8
2025/4/3-10	79,500	44.14-48.85	~3.7
2025/5/9-6/5	84,100	58.34-60.30	~5.0
2025/8/1-2	60,000	65.46-65.55	~3.9



Multi-Series BTC Bondの仕組み

Mechanism of Multi-Series BTC Bond

発行条件 Issuance Conditions

- SAR資金条件：SAR行使による調達資金 ≥ 債券残高の75%
- 株価条件：株価 ≥ 150円(10/28 株式分割後)
かつ 売買代金 ≥ 25億円
(前回債券発行後からの累計)
- その他制約：H.a.Nグループによる株式売却制限なし

金利構造 Interest

期間	金利
6ヶ月	3.0%
9ヶ月	4.5%
12ヶ月	6.0%
15ヶ月	7.5%

償還方法 Redemption

- 📅 予定償還：満期時に額面金額で全額償還
- ⚡ 早期償還：希望償還日の2営業日前までに書面で通知

資金循環メカニズム Revolving Mechanism



発行枠と制限 Limits & Restrictions


- 発行債券総額面 最大100億円
既発行・償還・満期を含む
- 1シリーズ上限 10億円
- 発行債券残高上限 50億円
いかなる時点でも超えない
- 債券期間 2年間
総発行可能期間

Stock Acquisition Rights (SAR)

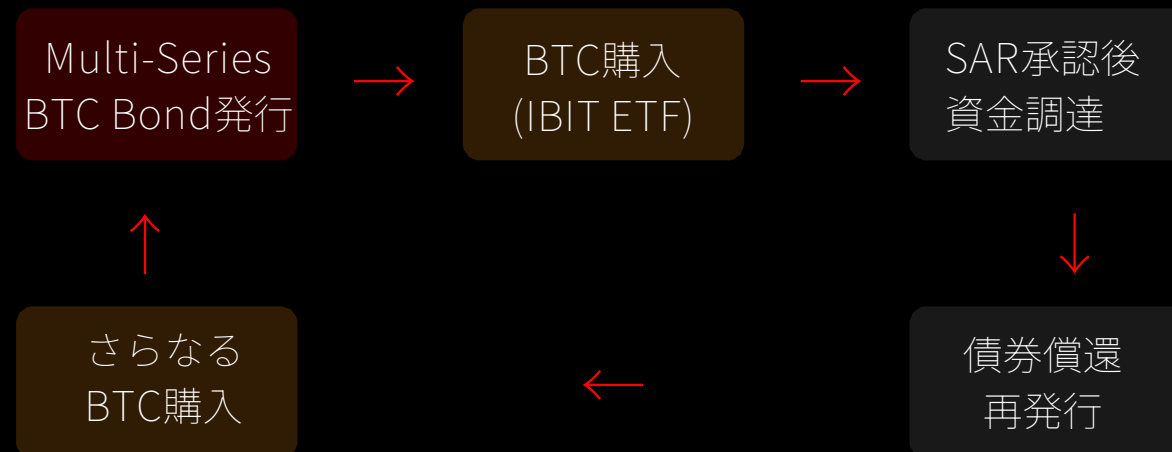
SAR Linkage Mechanism

資金調達の流れ

 ブリッジファンディング
Multi-Series BTC Bond
発行上限：100億円 残高上限：50億円
※SAR承認までの橋渡し資金




 大規模資金調達 (1st phase)
SAR1: 45,000,000 個 (発行済株式総数の24.72%)
Cantor Fitzgerald & Co.: 36,000,000 個(全体の80%)
Cantor Fitzgerald Groupの中核企業
Lian Yih Hann: 9,000,000個
当社のビットコイン・トレジャリー・ボード、チェアマン
潜在資金調達総額: 約●億円

資金調達・BTC購入フロー



Cantor Fitzgerald Groupの役割

Role of Cantor Fitzgerald Group

-  Cantorの参入により、資金調達の信頼性とBTC戦略のグローバル化を実現
暗号資産分野での革新的実績が企業価値向上に不可欠
36,000,000 個 (80%) の新株予約権引受で資金調達を強力に支援
-  市場外売却で市場影響を軽減、海外機関投資家への投資機会拡大
-  グローバルネットワーク（30カ国、200拠点）がBTC投資拡大と国際信用力を強化

Cantor Fitzgerald Groupについて

Cantor Fitzgerald Group - Overview

Cantor Fitzgerald Groupの世界市場における展開

- 1945年にウォールストリートに設立されたグローバル金融サービスグループ
- 関連会社を含めて世界22ヶ国に300超の拠点を有し、従業員は12,500人超
- 暗号資産を含む先進領域に注力し、投資銀行サービスを提供



連邦準備銀行との直接取引を米国政府から許可されたプライマリーディーラー25社のうちの1社



世界22ヶ国に300超の拠点
従業員は12,500人超
(関連会社を含む)



グループの年間金融取引額は3京円超
(日本のGDPの約50倍⁽¹⁾)



投資適格格付を取得
(S&P、フィッチ、JCR)

リーダーシップ



Brandon Lutnick
Chairman

- スタンフォード大学卒。「Symbolic Systems」を専攻
- 前任のHoward Lutnick氏が米国商務長官に就任したことに伴い会長に就任

株式市場におけるプレゼンス

- 2024年、2025年初来の米国市場におけるIPO引受総額ランキングでNo.1⁽²⁾
- 2025年初来の米国市場における株式オファリングの年初来引受総額ランキングで上位5社にランクイン⁽²⁾
- 2025年版のGlobal Finance誌「World's Best Investment Banks 2025」において、北米地域の「Best Equity Bank」に選出⁽³⁾



2024年米国IPO

#	ブックランナー	引受金額 (十億米ドル)
1	Cantor Fitzgerald	3.19
2	JP Morgan	1.83
3	Morgan Stanley	1.79
4	Goldman Sachs	1.79
5	BofA Securities	1.75

(1) 内閣府により公表された2024年の名目GDP609兆円を参照

(2) 出所: Cantor Fitzgerald

(3) 出所: Global Finance

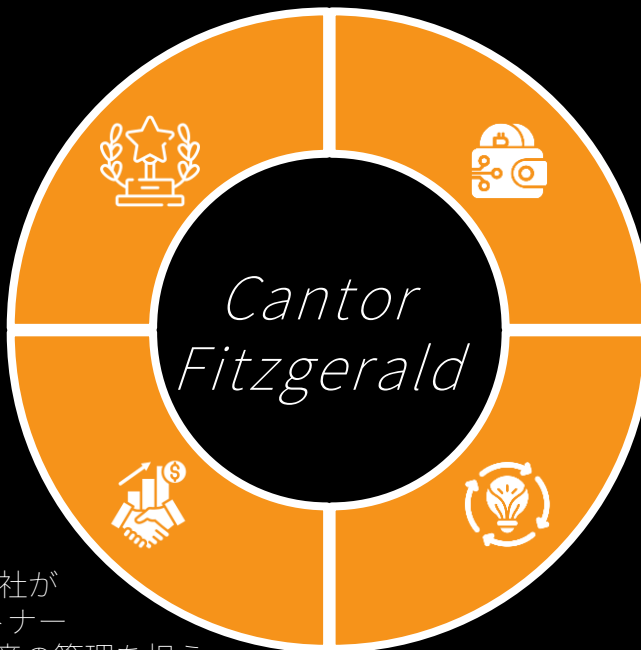
Cantor Fitzgerald Groupの暗号資産領域における実績

Cantor Fitzgerald Group - Track Record in the Crypto Assets Space

- Brandon Lutnick会長は、暗号資産領域への戦略的な進出を主導
- Cantorは、戦略的提携や資金調達支援を含めて暗号資産領域におけるフロントランナー投資銀行

暗号資産関連企業に対する資金調達支援

- ✓ 多くの著名暗号資産関連企業の資金調達を支援
- ✓ 暗号資産領域における資金調達支援金額の累計は500億米ドル超



暗号資産業界に対する深い洞察

- ✓ 暗号資産セクターの専任アナリストを擁するリサーチ体制を有し、数十社の暗号資産関連企業をカバー



Brett Knoblauch, CFA



暗号資産領域におけるネットワーク

- ✓ 暗号資産に関連したグローバル規模のカンファレンスを定期開催








暗号資産ファイナンス・運用

- ✓ Tether (USDT/USAT) の準備資産運用パートナー：
 - 世界最大の米ドルステーブルコインUSDTを発行するTether社が保有する準備資産（米国債等）保管・運用を担う主要パートナー
 - 米国向けの新たな米ドルステーブルコインUSATでも準備資産の管理を担う
- ✓ BTC担保レンディング：
 - 2025年に機関向けBTCレンディング事業を本格稼働し、初期フェーズ20億米ドルの資金枠を設定
- ✓ プリンシパルリスクへの積極関与：
 - Tether社、SoftBank社等と共同出資によりBTCトレジャリー運用投資会社Twenty One Capitalを運用
- ✓ プロダクト・アセットマネジメント戦略：
 - BTCとゴールドを組み合わせたファンドであるCantor Fitzgerald Gold Protected Bitcoin Fund, L.P.を運用

リスク要因

Risk Factors

-  市場ボラティリティ：ビットコイン価格の大幅な変動により、保有資産の評価額が変動するリスク
-  SAR認可遅延リスク：株主総会での承認が得られない、または遅延することによる資金調達計画への影響
-  規制リスク：各国の仮想通貨関連法規制の変更により、保有・取引に制限が課される可能性
-  為替リスク：円・ドル為替レートの変動による円換算評価額への影響
-  取引先リスク：ETFや取引所のセキュリティ・運営に関するリスク

市場ボラティリティリスク



規制リスク



将来展望

Future Outlook



SAR2発行に向けた交渉



月次IBIT ETF購入状況を定期的に開示し、透明性を確保



BTC保有量を段階的に拡大



長期保有戦略により、インフレ耐性と企業価値の持続的向上を実現



株主・投資家との継続的な対話を通じて、ビットコイン財務戦略の理解促進に努める

免責事項

Disclaimer

投資判断に関する注意事項

- ⚠ 本資料は情報提供を目的としており、投資勧誘や投資助言を目的としたものではありません。
- ❗ 投資判断はお客様ご自身の責任において行われるようお願いいたします。
- 📄 投資判断の際には、EDINET（有価証券報告書）およびTSE（適時開示情報）などの公表資料をご参照ください。

市場リスク

- 📈 ビットコインの価格は市場変動の影響を受け、大きく上下する可能性があります。
- 🔗 規制環境の変化により、想定していた戦略の実行が困難になる可能性があります。
- 🔄 Multi-Series BTC Bondの発行条件が満たされない場合、資金調達計画に影響を与える可能性があります。